

第6期 東久留米市地域産業推進協議会
(第2回会議録)

- 1 日 時 令和元年5月29日(木) 午後6時30分～午後7時50分
- 2 会 場 東久留米市役所6階602会議室
- 3 出席者等(敬称略・五十音順)

秋田 茂良	伊藤 成美	岩崎 哲二	大山 裕嗣	齋藤 正人	篠宮 武博
篠宮 利則	篠宮 宣典	土田 健太郎	水越 泰弘	横山 和子	吉弘 拓生

事務局 山下、島崎、浅海、森本、小山、武井、臼井、瀬下
オブザーバー 古館 真美

(一般財団法人地域活性化センター総務企画部クリエイティブ事業室 副参事)

傍聴者 なし
欠席 なし

4 議 事

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 報告
- 4 議事

(1) 各事業部会の今後の取り組みについて

- ① イベント推進事業部会
- ② 情報発信推進事業部
- ③ 新産業創出推進事業部会

(2) その他

5 連絡事項

- (1) 委員からの報告
- (2) 事務局からの報告

6 次回協議会開催日

日時 及び 場所 後日連絡

7 閉会

1 開 会

【事務局】本日はお忙しいところ第2回東久留米市地域産業推進協議会にお集まりいただきありがとうございます。只今より、第2回東久留米市地域産業推進協議会を開会したい。平成31年2月に第6期の地域産業推進協議会がスタートし、委員の皆様には委嘱書を交付したところだが、有識者として一般財団法人地域活性化センターより推薦され、委員として委嘱した■■■■委員が人事異動となり、後任として■■■■氏を委員としてお迎えすることとなった。市民部長より委嘱書を交付したい。

～市民部長より委嘱書の交付～

【事務局】■■■■委員は、福岡県うきは市の市長公室付事務主査、群馬県下仁田町の副町長などを歴任され、現在は一般財団法人地域活性化センター総務企画部、企画課クリエイティブ事業室長、企画課担当課長人材育成室担当課長を担われている。委員、ご挨拶をお願いしたい。

【委員】福岡県の久留米市出身である。昔から東京にも「久留米」があるということで、ずっと憧れの地であった。また、群馬県の高崎市榛名地域との地域感交流をされているのことで伺っている。東久留米市の皆様のお役に立てるよう努めてまいりたい。

【事務局】委員ありがとうございました。なお、部会については前任の■■■■委員と同様、情報発信推進事業部会をお願いしたい。委員の知識やご経験を存分に発揮していただくようお願いしたい。

(この後、事務局より人事異動のお知らせをし、事務局、■■■■主事より挨拶を行った。)

2 挨拶

【会長】4月より事務局が新しい体制となり、一般財団法人地域活性化センターからの委員の派遣、及び同センターからのオブザーバーの■■■■氏も新たに就任された。改めて、どうもありがとうございます。前回の協議会開催より数か月が経ったところで各事業部会も率先して事業を行っていることと思う。本日は各事業部会の報告をさせていただくが、今回は本会議ということで他事業部の方からの質問やご意見など、皆様とともに活発な意見交換をしていただけたらと思う。

3 報告事項

会長が公務として活動された報告事項はなし。

4 議事

(3) 各事業部会の今後の取り組みについて

【事務局】議事進行は■■■■会長よりお願いしたい。

【会長】早速だが議事をはじめたい。まずはイベント推進事業部の■■■■事業部長からの報告をお願いしたい。

① イベント推進事業部会

【委員】事務局より報告をお願いしたい。

【事務局】資料をご覧いただきたい。イベント推進事業部は、2、4、5月に事業部会を開催した。2月の第1回事業部会では、地域産業推進協議会の主旨を事務局から説明するとともに、今までイベント推進事業部会が取り組んだ事業などを説明したうえで、第2回事業部会までに、各委員で提案する事業等を考えていただくことをお願いした。4月の第2回事業部会では、まず■■■■副事業部長の選任を行い、その後、特産品マップ「東久留米大好きっ！」が3月末に納品されたことを報告した。そして今年度及び来年度取り組む事業について、委員から事業提案が行われた。第1回事業部会では、地域産業推進協議会の主旨を事務局から説明した。次回以降の事業部会に向け、各委員で事業提案等を考えて来ることとなった。第2回事業部会では■■■■副事業部長を選任し、各委員から今年度及び来年度事業提案が行われた。5月の第3回事業部会では、事業提案を基に事務局が調査研究した内容を報告し、今後推進していく事業について検討した。イベント推進事業部の委員が発案したアイデアではあっても、情報発信推進事業部会との関連が深いアイデアは情報発信推進事業部会へ情報提供してはどうかという意見が出された。29、30年度に1回ずつ開催された「農業体験ウォーキング」を参考に検討しているが、スポーツ健康関連イベントであり、一例としてはヨガを取り入れたイベントで、写真は西東京で開催されたパークヨガの紹介である。スポーツイベント、つまり健康管理を経営的視点で考える「健康経営・健康投資」について情報共有も行った。次のページでは、トマトソースについての資料を掲載しているが、ピザソースと柳久保小麦のピザ生地について検討している。続いて次のページになるが、団地マニア、工場萌えについての検討も行った。団地マニア、工場マニアが訪れたい街として東久留米を売り出してはどうかというアイデアであった。小平市は、すでに丸いポストが多く残るまちとしてマップも作成して市のセールスポイントにしている。次ページは市のマーク市章を取り入れたデザインのグッズ販売はどうか、というアイデアである。市のマークは、営利目的でなければ利用ができるとのこと。ただ、帽子やシャツ・ジャケット類は詐欺防止の観点から許可が下りない可能性が高いことを確認している。次ページは、特産の豊でマウスパッドを作成している例などを掲載している。最後に、少し異なる視点だが、千葉市は市のマークを一時的に初音ミクに変更し、話題になったことがある。千葉市は2017年8月31日、バーチャルアイドル「初音ミク」をイメージした特別デザインの市章を1日限定で市ホームページにアップした。きっかけは、千葉市のマークと初音ミクの姿が似ているとネット上で話題になっていたことである。説明は以上とする。

【委員】現在はアイデアベースで検討している状況である。私の思いとしては地域産業

推進協議会で実施したらおしまい、というイベントのあり方ではなくて、その後も継続して活用できるようなイベントを企画し実施できたら良いと考えている。方向性としては農業体験ウォーキングを踏襲した形である。来年度においては、健康関連のイベントやトマトソースを使ったイベントなどを進めていけたらと考えている。工場マニアの案件は、委員から提案があった。超マニアックで特殊なところが東久留米の地域資源となりうるということが非常に興味深いのではないか。

【会長】委員より補足等があったらお願いしたい。また、以上の報告の中で他事業部の委員の皆様からのご意見ご質問等あればお願いしたい。農業体験ウォーキングは毎年開催しているが、今年度の開催予定はあるのか。

【委員】秋に開催を予定している。農業体験ウォーキングはイベント推進事業部会の基本路線として考えている。

【事務局】イオンからも健康を推進するイベントであれば今年度も協力することができるという確約をいただいている。

【副会長】ヨガイベントは健康に良い取り組みであると考えますが、団地マニアや工場マニアなど、生活を紹介されるとなると素直に喜べない部分もあるかも知れないので、慎重に検討した方が良いかと思われる。工場付近を通る自動車のマナーなどのこともあり、マニアを呼び込むことと生活者の安心安全の確保を同時に考えていかないといけない。

【委員】イベント推進事業部会の一環としての事業ではあるが、同時に情報発信推進事業部との連携の必要性が考えられる。東久留米市にはいくつか団地があり、また、これだけ団地がある自治体もなかなかない中で、マニア層を取り込み、この地域資源を利用しながらフェイスブック、SNS等で情報を発信していけたら良い事業展開ができるのではないかと考えている。そして、自分の希望としては最終的にはタモリクラブに出演したいと考えている。

【会長】出演機会があると良い。他に何かご意見、質問等あるか。なければ情報発信推進事業部会からの報告をお願いしたい。

② 情報発信推進事業部

【委員】平成31年4月25日（木）に、FMひがしくるめの「このまち☆サークル」に会長をはじめ、副会長、■■■■事業部長、■■■■事業部長、■■■■委員と共に出演させていただきました。出演時には皆様ご協力をいただき、どうもありがとうございました。東久留米市地域産業推進協議会の委員の皆様の和気藹々とした雰囲気、そして地域に対する熱い思いを十分にアピールできたのではないかと感じている。それでは現在、情報発信事業部会で取り組んでいる事業についての報告をしたい。資料1、2のフェイスブック・インスタグラム、資料3のデザインマンホール蓋を活用した周遊性向上事業、資料4の多摩の魅力発信イベントについて検討しているところである。事務局より報告をお願いしたい。

【事務局】資料1、SNS運営まとめについて報告する。情報発信推進事業部会は、第6

期は本日のこの本会の前時間帯を含め4回ほど開催している。今年度に入ってから平成31年4月26日、ちょうどラジオ出演の翌日に第3回目を開催した。6期のSNSは3月26日が初日であったが区切り良く今年度から始めたところのご理解をいただきたい。第5期については、SNSでの情報発信はフェイスブックに特化した形で運営をしていたが、今年度になり新たにInstagramと連動した形での運営となった。資料1についての説明であるが、リーチ、いいね!の数を集計した日付順のものが、その次にフェイスブックのリーチ順、Instagramのリーチ順をソートした資料となっている。ユーザーとしてはフェイスブックのほうがリーチ数は多いが、Instagramの方がいいね!数が多いという統計となっていて興味深いものがある。また、リーチが多くなる傾向は、フェイスブックとInstagramの2つのツールではだいぶ異なるという結果について驚いた、という事業部会としての感想であった。また、この2社のターゲットとしているユーザーをうまく使い分けたいので、うまく情報発信をしていけるよう今後も研究を重ねてまいりたい。また、事業部会では、SNS講座を構築していきたいと考えているが、こういったユーザーにどのような情報発信がより効果的であるかを試行錯誤している最中である。今後さらに研究を進めてまいりたい。続いて資料2の説明である。これまでの5期ではフェイスブックに特化した形で情報発信を進めてきたが、6期になり新たにInstagramを加えたところである。情報発信推進事業部会では、地域産業推進協議会の委員全員がこのSNS（はしっこちょこット東久留米）を発信できるようにと考えているため、2ツールの連動方法についての説明書きを作成した。詳細な内容は後覧いただければと考えている。まず、フェイスブックはアカウントを作成し、産業政策課のアカウントに友達申請していただきたい。その後、投稿者としての招待を送るので承認願いたい。Instagramについてはアプリをダウンロードし産業政策課のIDでログインする仕組みである。当該資料のチュートリアルの中にログインするための情報は記載していないが、後日、委員宛てにて送信予定である。SNS講座については情報発信推進事業部会で開催するかどうか、規模の大きさなどを事業部会で検討し、また次回の本会議にて報告をさせていただく予定である。次に資料3について。デザインマンホール蓋を活用した周遊性向上事業（案）概要版の説明をしたい。情報発信推進事業部会では企画の提案をしているため、本会議では概要版の資料配付とさせていただいた。この事業は東京都の補助金事業、補助率10分の10でデザインマンホールを作成し、お披露目イベント等を行うという事業である。どのようなキャラクターをモチーフにするのかについては、下水道事業との相性の良い地域資源PRキャラクター湧水の妖精るるめちゃんをモチーフにしようと進めてきた。目的は、湧水の妖精るるめちゃんを通じて市への愛着を醸成すること、そして鋳・鉄蓋のマンホールは、マンホール・マニアには大きな反響を呼ぶため、このデザインマンホール蓋を使っているるるめちゃんを外に向けて発信し、広めていくという考えだ。スキームの中で、イベントをと考えたが、なかなか単独でイベントを開催していくことは難しかったため、検討の結果、市民みんなのまつりの行政ブースと1月に開催する開運!七福神めぐりのイベント

でお披露目をしていけたらと考えている。予算については、警備委託料11万円、マンホール購入費用は約130万円。スケジュール案は資料3別紙のとおりとする。資料の7番目、令和2年度以降の展望については、今後の東京都の補助金の継続状況等により、地域産業推進協議会で新たな事業展開を検討してまいりたいと考えている。例えば、下水道広報プラットフォームのマンホールカードを次年度以降に作成していく方向性で考えている。設置場所については案内図をご覧いただきたい。4か所の設置と想定しているが、東久留米駅西口と東口に一か所ずつ、そして第10小学校前、神宝小学校前としている。予算については6月補正で準備している。また、情報発信推進事業部会では、このマンホール蓋はるるめちゃんの絵柄をモチーフとしているため、7月に入ってSNSを使って市民アンケートの実施を考えている。11月の市民まつりの行政ブースでお披露目を行い、1月の七福神めぐりのイベントまでに職員の手で取り付けを完了させる。資料3別紙のラフ画のような形で作成したい。次に資料4、多摩の魅力発信イベントについて。11月15日（土）～16日（日）、市民みんなのまつりの翌週の土日に豊洲での開催となる。市町村1団体1ブースを出して、市町村又は市町村の推薦する事業者等に出展していただき、特産品やご当地グルメなどの販売促進、飲食の提供、観光スポットなどのPR活動を行うものである。このブースの活用方法、特産品を何にするかなどについて情報発信事業部会で検討し、委員の皆様にご協力いただき、委員の参加者を募る方向性で考えている。事業部会で検討した結果を次回の本会にて報告したい。最後に、本日資料提案はないが、ダイヤモンド富士事業について。昨年度は協議会と連携した動きができていなかったとの報告を受けている。イベントの部分、新産業創出の部分、情報発信の部分など、どの部分でどのように盛り上げていけるかなどを次回以降の情報発信推進事業部会で検討していく予定である。以上、地域産業推進協議会全体で協力して進めていけたら、と考えている旨を報告したい。

【委員】事務局からの説明、ありがとうございました。補足を行いたい。情報発信推進事業部会からのお願いであるが、フェイスブックとInstagramのアカウントをお持ちの方は是非投稿者になっていただけるようお願いをしたい。投稿者によりかなり個性の出方が異なるため、色々な人で投稿できたら良いと考えている。フェイスブック、Instagram両方の連動型だとInstagramのアカウントがあるとより簡単に投稿できて便利である。デザインマンホール蓋を活用した周遊性事業に関しても事務局から説明があったとおりである。多摩の魅力発信イベントは、5月31日に説明会があり、事務局職員が代表して参加し詳細を聞くことになっている。また、SNSの危機管理講座とSNSを使って地域の魅力UP講座などを検討している最中である。

【会長】ありがとうございました。

【委員】是非、東久留米のSNSアカウントを広げ、東久留米を活性化していきたい。マンホールカードは無料で配布している自治体もあるようだが、販売したり、販売促進に結び付けるようなしなげづくりを検討したりするのも良いと思われる。

【事務局】マンホールカードの配布については、特産品を置いている店での配布もOKとのことだ。

【委員】デザインマンホールについて質問。マンホールカードとは、どのようなものなのか。

【事務局】デザインマンホールの写真と座標が載っているカードのことである。

【委員】市内4か所に設置をされるので、折角だから4か所を回って見ていただけると、というのが周遊性向上事業の目的であると思う。4つのカードを最終的に組み合わせると意味がある形になるとか、得られる言葉などを組み入れておくと良いのではと思った。それをデザインの中に入れ込んでいくのは良いアイデアであると思う。

【会長】それは本当に良いアイデアである。隠し文字があつたりするとより一層楽しめるのではないか。

【事務局】今回資料3別紙でお示しをしているラフ画がある。どのような要素を取り入れていけるかは、今後の事業部会で検討していきたい。

【事務局】設置できる場所についても様々な縛りがある。例えば歩道の上が条件であるなど。

【会長】4か所は全て違うでデザインで考えているか。

【事務局】その予定である。

【会長】ラフ画を確認した。正直、色使いについてはもう少し派手なほうが良い。右上の画像のるるめちゃんの鼻がない。今後はデザインをフェイスブックやSNS等でアンケートを行うのか。

【事務局】どのるるめちゃんのポーズが好きかどうかを投稿で決められれば良いと考えている。

【会長】タイムスケジュールとして、デザイン決定はいつぐらいか。

【事務局】7月上旬にSNSでアンケートを取り、7月中にはデザイン案を決定していく予定である。

【会長】ほかに質問等があればお願いしたい。

【委員】「おすい」「うすい」はどちらで作成する予定であるか。

【事務局】西口は「うすい」その他が「おすい」になる予定である。どのるるめちゃんを「うすい」にするかは今後検討していくが、青いデザインのは「うすい」にしていく方向性である。

【委員】水の妖精で「おすい」というのはどうなのかなと思ってしまった。

【事務局】おっしゃるとおりではあるが、事業の目的で「健全な水循環のアピール」や「下水道事業のアピール」を行っていく予定である。東久留米は大変水の良いまちであることを市民の皆様にもアピールし伝えていけたらと考えている。

【委員】下水道事業のそういった意味合いもセットにして情報発信していく必要があると思われる。

【会長】情報発信推進事業部会のほうで、良く案を練っていただきたい。

【委員】色々なマンホールについて調べたが、周遊性向上に繋げるため、これらのマンホールの人気が出るための要素は何かあるか。

【事務局】マンホールには色々なタイプがある。画像のプレート、鋳物・鉄蓋性のもの。その中でプレートではなく鋳物・鉄蓋性で作成したものがマニア受けするので、鋳物の鉄蓋で作成することで市外からマンホール・マニア層を呼び込める可能性が高いと考える。

【委員】作成するマンホールは4つと伺ったが、もっと数を増やせないのか。予算の関係もあろうかと思われるが、やはりたくさんあったほうが良いのではないか。

【事務局】設置場所の問題や予算の問題などがあり、今回は4つとさせていただいた。東京都の補助金上限額も、東京都全体で3600万円で打ち切りである。できるだけたくさんの方で申請したかったが、場所の選定も難しく今回は4か所となった。

【委員】次にFMひがしくめのラジオ出演に関する質問。ラジオ局からは地域産業推進協議会で定期的にラジオ番組を持つてはいかがかという意見が出ていると聞いている。協議会で番組を持つ可能性についてはあるのか。

【委員】検討したい。

【会長】ありがとうございました。他にご意見、質問等がなければ新産業創出推進事業部会からの報告をお願いしたい。

③ 新産業創出推進事業部会

【委員】新産業創出推進事業部は、6期に入り3回開催した。検討内容については前回から引き続き検討しているシェアキッチンに係る取り組みについて及び企業転出防止に係る準工業地域に係る取り組みについてである。この2つのうち、シェアキッチンに関する事業がいよいよ具体的運用をはじめたところである。事務局より報告願いたい。

【事務局】シェアキッチンにかかる取り組みを説明したい。本部会にて取り組んでいるシェアキッチンについて、4月1日（月）付にて㈱ホームコム代表取締役の■■■■氏と協定を取り交わし、滝山中央名店会内のデイサービスアルゴ参番館に「創業キッチンアルゴ」を開設した。同日より利用者募集要項【資料1】を市ホームページに公開、また、5月の市報に募集案内を掲載した。また、4月13日（土）には、事務局において創業キッチンアルゴでの営業活動を実施し、入室から調理・退去までの過程をマニュアル【資料2】に纏めた。現在、3件の問い合わせがあり、内1件については、5月9日に利用希望者が来庁し、事業の説明と利用審査申込書【資料3】を渡したところである。更に利用者を増やすため市内外で開催されるマルシェや創業イベントにおいてチラシ【資料4】を配布するなどして広報を行う予定である。4月13日土曜日に事務局が実際に施設を使った上で【資料2】のキッチンアルゴ使用マニュアルを作成した。このマニュアルに基づいて行っていただきたいと考えている。企業転出防止に係る準工業地域に係る取組について、準工業地域内の土地所有者に当該地域の重要性を訴えるチラシの配布及び準工業地域の開発等の情

報収集を行った。その結果、1件の問い合わせ及び情報が入った。土地所有者と企業の意向を確認したところ、残念ながらマッチングには至らなかった。引き続き、企業転出防止に取り組んで参りたい。事務局からは以上となる。

【委員】事務局からの報告、ありがとうございます。当市において創業支援の説明会を開催すると10名以上の方にお越しいただくが、実際に創業に結びつく方はほとんどいない現状である。是非市内で創業したいと考えている方にこのシェアキッチンを活用いただき、土曜日・日曜日だけここで営業し、自信をつけてから飲食店を創業していただけたらと考えている。事務局の一日シェアキッチン体験の日には、他県より来ていただいた方がいた。ちなみに資料4は事務局の作ったハンバーガーの写真であり、ドリンクつきで1000円であった。引き続きチラシやホームページ等で募集をしていきたいと考えている。準工業の流出防止の取り組みについては、多摩地区の中で準工業地域が占める割合は5%と少ない現状であるが、その中で東久留米でも内容が良い工場が市外に流出してしまう現実がある。企業誘致というより企業の流出防止の取り組みといったところであるが、この取組で苦戦をしている最中である。前回の会議で報告をさせていただいた八幡町1丁目の1万坪の中の一部の土地についても、譲っていただきたいという交渉をするもなかなか先が見えないような状態であるが引き続き取り組んでいく。

【委員】折角の取り組みなので、情報発信推進事業部と連携し、シェアキッチンの告知をしていくことが望ましいのではと考える。また、他のイベント等でもキッチンアルゴの場所を活用できるようなイベントも考えていけると良い。

【委員】シェアキッチン事業については新規にお店を出店することが目的なので、数多くの方がここを經てお店を出していただけると良いと考えている。そして将来的には、商店街の空き店舗でお店を出していただきたいと考えている。

【委員】商店街の空き店舗を活用したうえで、東久留米産の地場産野菜を使った創作料理を提供できるようなお店になってくれたら良いと考えている。

【委員】一人、来庁して話を聞いた人はどのような方だったのか。

【事務局】市報で知った方だった。来庁していただき説明を行った。

【委員】事業部としては様々な方に間口を広げて募集活動を行うが、最終的に面接をしたうえで決定していきたいと考えている。

【会長】ほかにご意見、質問など何かあればお願いしたい。

【副会長】情報発信推進事業部会として、シェアキッチンの取り組み、募集に関する記事を情報発信していきたい。キッチンアルゴを借りる際のことだが、アルコール類や香辛料の強いものなのでも大丈夫なのか。

【事務局】介護施設を運用しているため、例えばにおいが後々まで残るようなものなどはご遠慮いただきたい。

【委員】最終的な決定権はアルゴにある。

【会長】広さ、キャパシティはどのくらいか。

【事務局】 4席座れる机が4つある。

【委員】 SNSで情報発信したいため、カラーのチラシをいただきたい。

【事務局】 了解した。

【委員】 利用時間等はこのチラシの通りか。

【事務局】 利用時間はチラシの通りである。

【委員】 チラシについて意見。電話とファクス、とあるがFAXではなくメールアドレスを載せた方が良いのではないか。

【事務局】 チラシはまだ案の段階なので、どんどん意見をいただきたいと考えている。

【会長】 そのほかに何か意見、質問等があればお願いしたい。なければ、事業部会の報告をおわりにしたい。

(2) その他

【会長】 (2) その他に入りたい。何かあればお願いしたい。

【委員】 フェイスブックについて。産業政策課のアカウントより委員の方にお友達新申請を出させていただいている方もいるため、それらの方は承認をお願いしたい。申請が届いていない方は逆にお友達申請をお願いしたい。

【会長】 事務局より何かあるか。ないようなので連絡事項をお願いしたい。

5 連絡事項

(1) 委員からの報告

なし

(3) 事務局からの報告

【事務局】 事務局より5点の報告をしたい。

- ① 駅前商店会での新しい試み「激辛スタンプラリーin 東久留米（ヒーがしくるめ）」が8月1日（木）から9月1日（日）に開催される。スタンプラリーへのご参加をお願いしたい。
- ② 8月3日（土）、駅前夏まつりが開催される。このまつりは市内の商店街最大級のお祭りである。楽しいまつりなので是非皆様の参加をお願いしたい。
- ③ 6月29日（土）農業経営者クラブ主催事業の「直売所めぐり農さんぼ」が開催される。柳窪地域の直売所を巡る。今回の農さんぼは親子だけを対象とせず、年配の方や若い方でもOKとしている。
- ④ きたたま農アイランドについて。6月15日は東久留米での開催日となる。J:COM、銀河鉄道株式会社の主催事業である。申込み〆切は5月31日。まだ定員に達していないため募集している。東久留米市も連携協議会として携わっている。横山事業部長の協力で柳久保小麦の収穫体験ができる。

⑤ 8月10日放送予定、テレビ東京で「アド街ック天国」の企画がある。現在はまだ企画段階である。

【会長】事務局からの報告について、委員の皆様からのご意見、質問等はあるか。

【委員】6月15日（土）関東一部リーグ開幕戦が開催し、カフリング東久留米の試合が17：30キックオフとなる。皆様からの応援をお願いしたい。

【副会長】資料はないが、明日の朝日新聞に情報発信推進事業部長の記事が掲載予定である。

【委員】柳久保小麦の会の記事での掲載予定である。

6 次回協議会開催日

【会長】次回開催日時及び場所については後日事務局より連絡したい。最後、市民部長よりご挨拶をお願いしたい。

【事務局】長時間にわたりご審議いただきありがとうございます。本日も自由で豊かな発想、前向きで楽しい様々な議論が繰り広げられたことについてお礼申し上げたい。発想の中で、行政としてどのように実現すべきかのスタンスで考えている。実施に近づけるよう努力をしたい。2点、委員の皆様への報告事項がある。

(1) 6月3日（月）より6月の定例会が開催される。4月の選挙で選ばれた新しい議員による審議が始まることとなる。この議会はデザインマンホール蓋を活用した周遊性事業に対する補正予算の審議となる。産業政策課への一般質問は商店街の活性化、観光振興、市の取り組みについてとなる予定（ 議員より）

(2) 4月下旬に上の原地域に開店したリクシルビバホームの責任のある立場の方より開店より2か月経過した状況の報告とセンターのあり方、市のイベントスペースとして提供することを考えたいとの意見をいただいている。

7 閉会

【会長】議事を事務局に戻したい。

【事務局】それでは以上をもちまして第2回東久留米市地域産業推進協議会を閉会としたい。長時間に渡り、ありがとうございました。